

第2回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和5年10月17日(火) 14:00~16:30
場所	古河市役所 古河庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員(委員長)、中野委員(副委員長)、渡辺委員、野村委員、蓮見委員、峰委員、初見委員、関根委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、宮本委員、岡安委員、湯本委員、蘇武委員、柿沼委員、千野委員
欠席委員	(なし)
事務局	企画政策部 野沢部長 プロジェクト推進課 細見課長、山中課長補佐、海老原係長
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ(TWS) 小池、山本 日本工営都市空間株式会社(NKU) 福林、矢野、今吉
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題(1)市民アンケート結果について ・資料1 市民アンケート結果【本編】 ・資料2 市民アンケート結果【別冊】 ・資料3 市内文化団体アンケート結果【本編】 ・資料4 市内文化団体アンケート結果【別冊】 (2)市内の既存文化施設について ・資料5 市内の既存文化施設 (3)施設に求められる機能について ・資料6 施設に求められる機能に関して (4)建設候補地について ・資料7 建設候補地 4 その他 5 閉会
事務局	【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】 (委員長挨拶) 今後の進め方に関して、新公会堂の建設場所を決定、コンセプト、規模機能、整備手法、管理運営など、順を追って検討を行ってまいります。建設場所を先行して決定するのは、建設場所の敷地面積によって、ホールの規模や諸室数等に影響が出るためです。今回は3つの候補地とその評価項目に関して確認いただき、第3回市民委員会において候補地を決定したいと考えていますので、どうぞよろしく願います。

<p>事務局 小林委員長</p> <p>TWS</p> <p>小林委員長</p> <p>TWS</p>	<p>《議事》</p> <p>(1) 市民アンケート結果について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>駐車場が欲しいという意見はよくある意見だと思われませんが、何台程度が必要か、用途は観客用または出演者用かなど、具体的な意見はありましたか。</p> <p>具体的な台数に関しては今後検討を行うため、今回のアンケートでは調査していません。他市の事例では、ホールの客席数や、立地面によって駐車場台数を検討することが多くあります。想定される敷地候補地によっては、敷地内だけでなく周辺の駐車場の活用などを含めた必要台数の検討を行っていくことが考えられます。</p> <p>既存の活動団体の意見だけを聞くのではなく、これからどのような人に利用していただくかということも想定して検討いただきたいです。</p> <p>一点補足させていただきますと、今回結果報告をしたアンケート調査以外にも、ヒアリング調査を実施中しています。現在は学校の先生へのヒアリングを実施しており、今後は民間のお稽古ごととして文化活動をしている方へのヒアリングを予定しています。</p>
<p>NKU 小林委員長</p> <p>今井委員</p> <p>事務局</p> <p>千野委員</p>	<p>(2) 市内の既存文化施設について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>資料5に関して、資料の目的は理解できますが、新公会堂の建設との整合性がわからないため説明いただきたいです。先ほどの市民文化団体アンケート結果の説明の中では、文化団体は「10人程度」の活動が最も多いと感じましたが、それらは既存施設で充分まかなえるため、新公会堂は使われない「負の遺産」となることも想定されます。市民の負担額に関して確認したいです。</p> <p>資料5の意図については、既存施設にある機能を委員の皆さんに理解いただくことを目的としています。新施設は古河市の文化施設の拠点になるものと想定していますので、既存施設との棲み分けというわけではありませんが、既存施設に不足しているものを補うということを目的としています。</p> <p>維持管理費に関しては、施設の場所や規模・機能が決まっていない以上明確な回答はできませんが、今回委託している業務の中で、民間活力導入可能性調査も含んでおります。建設コストや維持管理コストに関して民間活力の可能性も見定めながら計画を進めたいと考えています。</p> <p>資料5には駐車場の台数が記載されていませんが、アンケート結果等を踏まえ、既存の施設でどの程度駐車場が設置されているかということを調査していただきたいと思います。</p> <p>また、古河リバーサイドクラブにも大ホールがあり、古河市内で最も利用可能人数が多い施設だと思うため、追加いただきたいと思います。</p>

事務局	追記・修正を行い、資料を配布したいと思います。
岡安委員	アンケートの回答率が低く、もっと市民を巻き込んだ検討としないと、また失敗してしまうのではないかと懸念しています。
小林委員長	関心のない人に対して響かないことは懸念となります。「負の遺産」としないためにも、自分とは関係のない施設ではなく、市民全員が集える・多くの市民が行きたいと思えるような施設になるように計画・運営を行うこと、またどのように市民に周知するかということが課題です。新公会堂は、好きなアーティストを見に行くためだけの施設ではなく、市民がここで活動したいと思えるような施設づくりをしていくことが必要と考えられます。市内で文化活動を行いたい人を巻き込んでいくような基本構想とすることが重要です。また、文化芸術の良さをまだ知らない人にも届けられるにすることも重要なことです。市民委員会での議論を発信していくことも大切だと感じていますし、委員の皆さんにも同じ視点を持っていただきたいと思っています。
稲葉委員	公会堂を作るための目的、何をやりたいから作りたいかということが見えていないと思います。 成人式が3地域に分かれて開催していたり、各地域のブラスバンドが別々に公演をしていたりという状況ですので、市の各地域が合同で活動を行えるような場所というのが最も重要になるのではないのでしょうか。
小林委員長	新公会堂にどのような機能を付加していくのかということも、委員会の中で検討する重要な事項です。皆さんでアイデアを出し合い、市民に納得してもらえるような施設を作っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。
TWS	(3) 施設に求められる機能について 資料に基づき説明
小林委員長	委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。
中野副委員長	利用価値をしっかりと定めないと、負の遺産になってしまうのではないかと懸念しています。事例として挙げられていた水戸市民会館も、開館までには様々な経緯があったと聞いています。水戸市内には小中学校の発表の場としても利用可能な県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）もあるため、水戸市民会館の現状はどのようになっているのか気になっています。 古河市でも、小規模なホールは既にある状況です。施設を作ればどんなものでもある程度利用価値はあると思いますが、その中でも世代に関わらず集うことができる機能が重要だと感じています。地域のお祭りに関しては盛況だと感じていますので、広い年代で集まれる場を作れば、活用の可能性があるのではないのでしょうか。
小林委員長	運営がうまくいっている施設は他市にもあります。新公会堂もうまく運営できるように、委員会で機能を検討していく必要があります。集う機能が必要という意見が挙がっ

	ていますが、各委員から意見はありますか。
渡辺委員	古河は3市町が合併していますが、その間で公会堂が閉館しています。また、市内の祭りは古河地域のよかんべ祭り、総和地域の古河関東ドマンナカ祭り、三和地域のさんさん祭り、と各地区で開催されているという現状があります。集まって何かイベントができることで、市民の一体化を図るということが一つの目標になると思います。
野村委員	人を外から呼び込んでほしいということが商工会議所の立場からお願いしたいことです。鑑賞だけでなく、観光や街歩きなども合わせてできるホールにして頂きたいと思います。
小林委員長	先ほどの事例においては、ホール機能だけでなく、外から見える練習室などの事例もありました。例えば高崎芸術劇場では、練習室が日常的に利用されていることが外から見えることで、音楽の街だということが感じられるようになってきていると思います。新公会堂でもホールに限らず、意見を頂きたいと思いますが、いかがですか。
蓮見委員	商工会議所の立場からは、大きな催しが開催できなくなってしまっており、規模の縮小を免れず、残念だという声が挙がっています。ホール規模に関しては1200席程度が良いのではないのでしょうか。
峰委員	県西地区に大きな集会施設がなく、大規模な研修や大会では下妻市など市外の施設を利用しています。新公会堂のような施設が地元でき、鑑賞や集会などでも利用できると良いです。
初見委員	市の上位計画でも、工業団地で働く人を増やすという記述があります。他の地域から古河市に来て定住していただくことが重要です。市の文化施設を考えると、市だけでなく県西を代表するランドマーク施設となると良いと思います。未来の子どもたちのための施設は必要です。古河市は交通の便がよいので「茨城都民」という言葉のように、催し物などは都内に出かける人も多くいますが、そうではなくて、古河に誇れる施設ができ、定住者が増えると良いと思います。
小林委員長	定住者促進、未来の子どもに何を残すのかというキーワードが出ました。古河市で育てよかった、この土地で働きたいというように循環していくと良いと感じます。現在の利用者のほか、未来の子どもたちが新公会堂を通じて育っていくには何をすればよいのか、という視点はとても重要ではないかと思います。
関根委員	今後人口が減っていくため、若い世代が大事になっていくと思います。近隣の野木エニスホールは800席程度ですが、立地の良い古河市、子育てができるまち、ということを勘案した施設規模や使い方とすると良いと思います。
楠田委員	誰に使ってもらうのかという視点が重要と思います。市民利用だと500席程度が上限だと思いますが、高崎芸術劇場など目的を持った小ホールを複数持つことも、市民が文化活動に関わりやすくなると思います。MICEのような大人数を集める施設も古河に必要だとは思いますが、今回とは別の産業アリーナ等として整備する方が良いのではないかと思います。新公会堂は、まず市民が使うのであれば、目的に特化したものを作るのが良いのではないのでしょうか。
今井委員	古河は災害に弱い土地だと思っています。新公会堂を作るのであれば、逃げ込める場所

として作っていただきたいと思います。災害時に一時的に逃げられることをアピールしてはいかがでしょうか。はなももプラザは前回の災害時に避難しようとしてもいっばいで入れなかったと聞いています。例えば4階建ての施設として、浸水時も避難ができるようにする、障害者の避難対応ができる、備蓄倉庫を備えるなどの策を講じることで、大型施設としても賛同が得られるのではないかと思います。客席は施設の大きさに合わせて1000席、1500席程度のものを作っていただきたいと思います。

千野委員

ホール以外の機能を充足してほしいと思います。とねミドリ館を除くと飲食ができるホールが市内になく、会合後に立食パーティを行えるような機能が市内にありません。またハザードマップを見ると古河市内の避難所はとても少ないです。古河地区の小学校などもほとんど浸水してしまい、最後の逃げ込み施設としての利用になるので、その点も含めて新公会堂の検討を進めていただければと思います。

柿沼委員

大ホールと小ホールは機能が全く異なるため、両方が欲しいと思います。大ホールはミュージカルやバレエ、オーケストラなど、広いスペースがないとできない活動のために1000席程度の規模が必要だと思います。市内では発表の場所がなく、市外の施設や音響のあまりよくない体育館等で行っていると聞いています。また、小ホールは、10人程度の市民団体の活動や発表の場として、200席程度あれば十分と感じています。さらに、大ホールがランドマーク的な利用になるのであれば、小ホールにも特徴があると良いと思います。例えば、最近の施設でよく使われている可動式の椅子は、機能面では良いですが、揺れや音などの問題があります。鑑賞面を重視すると、座りごちが良い椅子を備えるなどの付加価値があると良いのではないのでしょうか。

蘇武委員

加えて、カフェも備えてほしいと思います。鑑賞後に集まって感想を語り合える場所としてだけでなく、近隣の人も気軽に使えるカフェであれば、人が集まると感じます。第1回の委員会に関して、施設が建設に至らなかったことについて「政争の具」になったという話が挙がっていました。来年の秋にも首長の選挙があるため、以前、文化施設の計画が整備に至らなかった理由の検証が必要だと思っています。ホール規模に関しては、総務省などからの文化施設の建設に関する許可などがあるかわかりませんが、人口規模からあまりにかけ離れた施設規模とすることは難しいと思います。人口規模を鑑みると1000席前後が妥当ではないのでしょうか。また施設計画が中断しないためには、委員会としても誇れるような施設として、内容を検討する必要があると考えています。

小林委員長

施設の整備に関しては、総務省ではなく、各自治体が最終決定を行うことになっています。そのため、施設の機能や規模について、市民の方の理解をどれだけ得られるかが重要になっていくと思います。

湯本委員

行政区議会などで3地区まとまって開催したくても場所がなく、地区の垣根が取れないということが課題でした。3地区をまとめた施設としては、少なくとも1000席程度の座席は必要だと思います。

岡安委員

規模は1000～1500席、小ホールや飲食施設などを備えるなど、外部から人を呼び込まないと運営上成功しない施設になってしまうと思います。古河市のシンボリックな施設となるよう、盛り上げていただきたいと思っています。

宮本委員	茨城県内でも、本物のホールで本物の演目を見せられる施設があると良いなと思っていました。古河市は交通の便が良いため、鑑賞活動のために都内に出かける人が多いですが、そうではなく、古河市に人を集め、古河市が中心になるような施設があると良いと思います。未来の子供たちのための施設、高齢者も老後も楽しめるような施設を売りにできると良いと思います。
稲葉委員	中ホール、小ホールのみ構成でも良いのではないのでしょうか。例えば800席の中ホールと200席の小ホールで合計1000席程度など。その代わりに図書館を併設して、指定管理者制度を導入することが良いと思います。
佐藤委員	古河市の未来創造特別委員会では、1300～1500席の大ホール、700席の中ホールという提案を行いました。古河体育館が閉鎖されて不便だという声もあり、中ホールは平土間でスポーツ利用もできると良いと思います。
塚田委員	大ホール、小ホールが必要と思います。パーティーや食事を伴う会合は、つくば市が会場となることが多く、映画館も市内に無いなど、市が経済的にも損している状況になっています。市内の会議室は一部を除いて飲食禁止であるため、一日利用ができず、市内の弁当屋への発注などもしにくいという状況です。防災面に関しても、現在予定している市内施設は不足していると感じているため、あわせて整備していければと思います。
事務局・NKU	(4) 建設候補地について 資料に基づき説明
小林委員長	本日は、候補地を事務局から提示された3か所として良いかという点、またそれらの候補地の評価基準に関して議論頂きたいと思います。
塚田委員	<休憩> 候補地②は、浸水想定深が大きいので、避難所として指定が難しく、この場所まで逃げることも困難かと思えます。また、地盤をかさ上げした場合には、他の場所に水が流れてしまうなど、対策が難しいのではないかと懸念があります。また私有地であることから取得が難しいのではないのでしょうか。候補地③は駅から遠すぎるため、難しいのではないのでしょうか。①は駅からまっすぐ行くことができることから、候補地①が良いと思いました。
小林委員長	今回は候補地を絞り込むわけではないため、広く意見を頂きたいと思います。
佐藤委員	候補地②はやはり災害の観点で懸念を感じました。候補地③に関しては、駅から遠いことが懸念を感じました。候補地①は近隣に300台の駐車場が整備されるため良いと思いました。
稲葉委員	候補地①は空き地が近くにあり活用できる可能性があり良いと思いました。
宮本委員	なぜこの3か所を選んだのかが気になります。評価は利便性が重要だと思いました。地盤は候補地③が良いと思いますが、やはり駅から遠いのが気になります。
岡安委員	候補地①を推薦したいと思います。駐車場が必要であるため、近隣のレストランの辺りが買収できないかと思いました。
湯本委員	候補地③は水害には強いと思いますが、交通の利便性等を踏まえると、候補地①が良い

	<p>と思います。</p>
柿沼委員	<p>敷地に関しては、駅に近いことをまわりの方も気にしていました。駅西口にできると良いですが、寺院もあり整備が難しいと思うため、市が所有している土地の方がスムーズに進むと思いをいた。</p>
千野委員	<p>3候補地で良いと考えます。評価基準に関しては、想定水位に関してより明確化できると良いと思いました。用途地域上、近隣に飲食店などの開発ができるかということも確認していただきたいと思います。敷地を閉じて有料イベントをできるかどうか、というポイントを調べていただきたいと思います。</p>
今井委員	<p>3候補地で良いと考えます。候補地②は浸水等で危ないという意見もありますが、近隣に日赤病院もあるため、遠方に逃げるより良いと思います。</p>
楠田委員	<p>3候補地で良いと思います。候補地②は水害の危険が懸念されますが、問題ありません。</p>
関根委員	<p>3候補地で良いと思います。提案としては、総和のど真ん中あたりに敷地があると市が一つになるイメージと合致すると思いますが、やはり駅に近いことが重要だと思います。</p>
初見委員	<p>3候補地のいずれでも良いと思います。候補地②は区画整理に反対されてきた経緯があるため、懸念しています。</p>
峰委員	<p>まちのど真ん中にできることが望ましいと考えますが、3候補地で問題ありません。</p>
蓮見委員	<p>3候補地で問題ありません。候補地①の駐車場の確保の懸念がありますが、建物の1階を駐車場とするなど、用地を確保できることも考えられると思います。</p>
野村委員	<p>3候補地で問題ありませんが、候補地②は私有地であることから、時間がかかり削除しても良いのではないかと思います。</p>
渡辺委員	<p>3つということが選択肢の数として良いと思います。建設のための条件として、災害対応の中心地、市役所機能の代替となるような機能が持てるかということは評価基準の一つとしたいと思います。</p>
中野副委員長	<p>評価に関して、数年前の台風19号の際に、市内の学校も垂直避難の対象となったなど、周辺の防災対策は進んでいると思います。堤防の整備が進んでいたり、学校の校庭の下に1週間分の飲料水タンクがあると聞いています。</p> <p>評価項目2・3・5・8・9が重要だと思いますが、項目に照らし合わせれば、候補地は自ずと見えてくると思います。集う機能がすべて当てはまるのは候補地①と考えています。</p>
小林委員長	<p>事務局に対して質問になりますが、私有地である候補地②は「地域未来投資促進法」での認定を得たという説明がありました。なぜここを候補地の一つとして挙げたのか説明いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>今年の9月に経産省から候補地②の場所については開発の許可を得たという状況です。市内では三和地区においても、「地域未来投資促進法」を活用して工業団地を誘致するなどの実績があります。今回は古河市として文化や賑わいを誘致する場所として、計画を提出いたしました。候補地の数に関しては、事務局側でも議論のうえ評価基準に沿って検討できる条件として、3つに絞り込んで提案をしております。今回候補地と評価項</p>

<p>小林委員長</p>	<p>目についてお認めいただけましたら、次回委員会で事務局による評価結果をお示したいと思っています。</p> <p>国から認められているということであれば、ある程度は開発にメリットがある土地と感じました。</p> <p>それではまず、3候補地で検討を進めることに対して承認してよろしい方は挙手をいただけますでしょうか。</p> <p>(全会一致で賛成)</p> <p>評価基準について承認してよろしい方は挙手をいただけますでしょうか。</p> <p>(全会一致で賛成)</p> <p>過半数以上の賛同をいただいたため、承認したいと思います。</p>
<p>塚田委員</p>	<p>資料7に関して、面積の表現が㎡と ha で異なっており見にくいため修正いただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>表現をそろえるようにいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>4. その他 今後のスケジュール</p> <p>事務局より今後のスケジュールをご説明します。</p> <p>第3回委員会は、11/21(火)14時総和庁舎の特別会議室を予定しております。</p> <p>第4回委員会は、2/20(火)14時古河庁舎の特別会議室を予定しております。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>